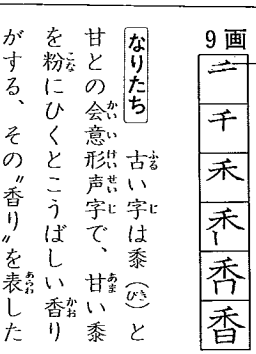
香

9画



おん コウ・キョウ
くん か・かおり・かおる

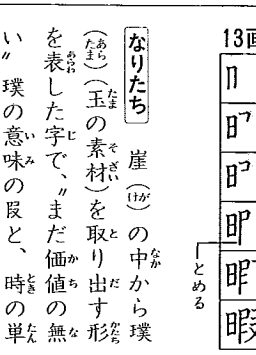
なりたち 古い字は黍（ひき）と甘との会意形声字で、甘い黍を粉にひくとこうばしい香りがする、その〝香り〟を表した字。また、〝かぐわしい（芳しい）〟こと。

いみとじゅくご
▼香り。良い匂（おに）い。
香水…良い匂（おに）いのする液体。香料をアルコールに溶かしたもの。
香木…良い匂（おに）いを漂わせるのに焚（た）く、香りの良い木。ビャクダンなど。
芳香…芳しい、良い匂（おに）い。
余香…後まで残る香り。移り香（が）。
▼香。良い匂（おに）いの焚（た）き物。
香炉…香を焚（た）くのに使う道具。
香煙…香を焚（た）く煙。特に仏前に供える香の煙。
香華…仏前に供える香と花。
香典…香の代わりに霊前に供える金品。
焼香…香を焚（た）くこと。特に仏前で香を焚いて拝むこと。

よみかた 香車・香気・香辛料

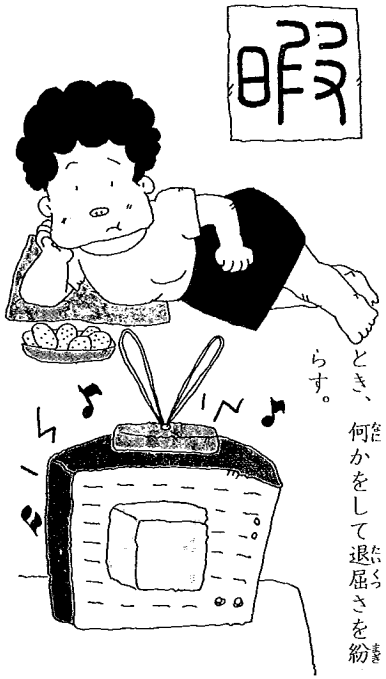
暇

13画



おん カ
くん ひま

なりたち 崖（がけ）の中から璞（あらたま）（玉の素材）を取り出す形を表した字で、〝まだ価値の無い〟璞の意味の叚と、時の単位である日との会意形声字。〝価値の無い時・する仕事の無い時・ひま〟を表した字。



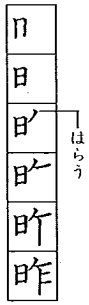
いみとじゅくご
▼暇。いとま（暇）。
余暇…暇。仕事をしないで、好きな事のできる時間。「余」は仕事をし終えて残った時間の意味。
寸暇…わずかな暇。**用例** 寸暇を惜しんで勉強する。
閑暇…暇。「閑」は暇でのんびりしていること。
▼休み。
休暇…会社や学校などの休日以外の休み。

さんこう 暇をつぶす＝暇なとき、何かをして退屈さを紛らす。

昨

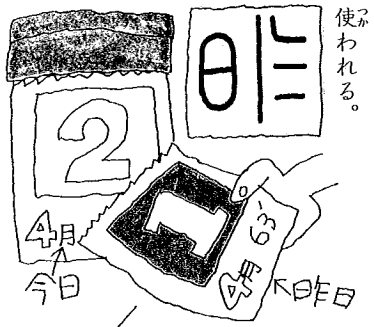
【4年】

9画



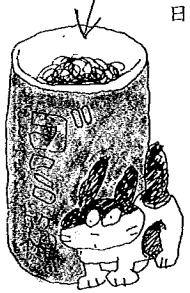
おん サク
くん

なりたち 木材に切れ目を入れた乍（さ）と、日との会意形声字で、夜という切れ目によって今日と分けられた〝きのう〟を表した字。〝前の日〟。転じて、〝前の月・前の年〟の意味にも使われる。



いみとじゅくご
▼前の日。
昨日…昨日。
一昨日…おととい。
昨晩…昨日の晩。
昨夜…昨日の夜。
昨今…昨日今日、という意味の言葉。近ごろ（このごろ）。**用例** 昨今の風潮。
昨非今是…境遇や心境の変化で、昨日悪いと思われたことが、今日は良いと思われること。
▼一回り前の時期。
昨週…前の週。先週。
昨年…前の年。去年。
昨春…昨年の春。

さんこう 昨日 特別なよみかた↓



作

【2年】

7画

おん サク・サ
くん つくる

なりたち 木材に切れ目を入れた乍（さ）と、人との会意形声字で、人が木材に切れ目を入れて〝工作〟することを表したもの。物を〝造る〟こと。転じて、物事を〝する〟こと。また、動作を〝起こす〟こと。〝起こる〟こと。

いみとじゅくご
▼作る。
作成…作り上げること。**用例** 書類を作成する。
作品…作ったもの。特に芸術活動によって作られたもの。
自作…❶自分で作ること。また、その作ったもの。❷「自作農」の略。自分で自分の田畑を耕すこと。
▼作ったもの。作品。
傑作…❶非常に優れた出来栄え（の作品）。❷突飛でおかしなこと。
▼物事をする。なす。行う。
作為…❶こしらえ上げること。また、作り事。❷意識的に行うこと。
▼起こす。起こる。
作興…奮い起こすこと。
▼働く。働き。
作業…仕事をすること。仕事。

よみかた 作物・作法・操作